

教職員対象 情報モラル研修

定期考査初日の6月28日（金）の午後、新潟県警察本部生活安全部少年課の職員の方を講師に迎え、教職員対象の情報モラル研修を行いました。

研修の内容は、SNSに起因する犯罪被害の現状、犯罪に巻き込まれる子ども達、ネットいじめ、事例検討等で、経験に基づいた具体的なお話を伺うことができました。

子どもたちにとってスマホやSNS等はなくしてはならない親しみのあるツールとなっておりますが、一方で、ネットいじめ、自画撮り被害、つきまとい被害、アカウント乗っ取り、性被害、盗撮、誘拐被害、誹謗中傷、闇バイト等、子どもを取り巻くトラブルは多くあり、どれもネットが絡んでいる現実に変更が気づかされました。

今後の本校での生徒指導、生徒支援、いじめ防止対策に生かしていきたいと思っております。

〈感想〉

- ネットの世界は、怖いと感じました。生徒には継続した指導の徹底が必要で、情報モラル研修の重要性を改めて感じました。
- 実際の事例が示されていて、わかりやすかったです。ありがとうございました。ネットを介すると判断が鈍くなってしまう今の青少年の実態がよくわかりました。又、重大事案の可能性を踏まえて、躊躇なく警察や児童相談所に届けることが大事であると感じました。
- ネットに絡むトラブルはとて多いと改めて学ぶことができました。ネットのトラブルは目の届かないところで起きることがほとんどだと思うので、本当に危険だと思いました。
- 本校の生徒の事例について、大変詳細なご助言をいただき、今後の指導・支援について、大いに参考になりました。

